

家庭で出る汚れは、大きく2つに分かれています。そんな汚れをエコ洗剤でお掃除！

- ◆酸性の汚れ・・・油、コゲ、石けんカスなど。
酸性の汚れは、重曹・セスキ炭酸ソーダ・炭酸ソーダで落とす。
- ◆結晶性の汚れ(石のように固まった汚れ)・・・水あか、尿石など。
結晶性の汚れは、クエン酸で落とす。

種類	重曹(炭酸水素ナトリウム)	セスキ炭酸ソーダ(セスキ炭酸ナトリウム)	炭酸ソーダ(炭酸塩)	クエン酸・食酢(ホワイトビネガー)
性質	弱アルカリ性(pH8.2)	弱アルカリ性(pH9.8)	アルカリ性(pH11.2)	弱酸性(pH2~3)
得意なこと	<ul style="list-style-type: none"> ・油脂、タンパク質を落とす ・クレンザー・歯磨き粉として ・酸性物質の臭いの中和(冷蔵庫、生ゴミ、靴箱、排水口) ・鍋のコゲ落とし 	<ul style="list-style-type: none"> ・油脂、タンパク質を落とす ・皮脂や垢などの軽い汚れの洗濯 ・血液汚れ ・台所のベタベタ汚れ ・取っ手やスイッチなどの手垢汚れ 	<ul style="list-style-type: none"> ・油脂、タンパク質を落とす ・油汚れの食器洗い ・キッチンのひどい油汚れ 	<ul style="list-style-type: none"> ・水あか汚れ ・尿石 ・トイレ掃除(臭いの中和)
苦手なこと	<ul style="list-style-type: none"> ・水あか、トイレのアンモニア臭などのアルカリ性の汚れ 	<ul style="list-style-type: none"> ・激しい泥汚れ ・機械油や口紅などの頑固な汚れ 		
濃度	500mlに小さじ1杯	500mlに小さじ1~2杯	500mlに小さじ1/2杯	200ccの水に小さじ1~2杯
参考	<ul style="list-style-type: none"> ・重曹は、水に溶けにくいので1%程度だと溶け残りもなく、乾いた時に白く残らないので、使いやすい。 ・五徳の汚れは、大きめの鍋に水を入れ、重曹(1%)を入れる。鍋を火にかけ沸騰させて、火を止めて2時間待つ。 ・重曹を汚れに振り掛け、スポンジで軽くこする。 ・スプレー容器に入れて使うと、水に溶けにくいため容器を詰まらせてしまうことがある。 <p>掃除使用なら、掃除用が割安。</p>	<p>カーペット繊維、木材、アルミ、畳などに使用すると、変色する恐れがある</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・落ちなければ、濃度を濃くする。 ・長時間の漬け置きはしない。 ・まずぼろ布やスクレイパーなどで、皿に残っている汚れや食べ残しをできるだけ取り除く。その後炭酸ソーダ水溶液をスプレーしてから洗う。 ・食器洗い用洗剤に少し混ぜると油汚れが落ちやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クエン酸パックの所要時間はミネラル分のこびりつき具合によって違ってきます。まずは、20~30分で！ ・落ちないようなら、パック時間を延ばす。 ・長くパックするなら、ラップを使用する。(ひと晩など) ・頑固な汚れを緩ませたい時は、そのまま汚れにふりかけ、少量の水を加えてこする。 ・金属面の水あか取りの場合は、ひと晩放置するなど極端なことはしない。 ・水あかなどの結晶性の汚れを時間をかけて落とすのに向いています。 ・キッチンで使用するなら薬用又は、調理用を！金属などを錆びさせるので、よく濯ぐこと。 鉄、テラコッタ、大理石には使えない。

- アルカリ性の洗剤は、素材によって変色する恐れがあるので目立たない場所で試す。アルカリ洗剤は、アルミには使えません。
- 酸は、炭酸カルシウムを溶かす性質のため、コンクリートや大理石に使うと材質そのものを傷める恐れがあります。(大理石の主成分は、炭酸カルシウムなので)
- 洗剤を作り置きする場合、1ヶ月くらいで使い切ってください。
- 炭酸水は、ガラス掃除に使用できます。窓に吹きかけ、布で窓を拭く。比率は、重曹3:クエン酸1 500mlに重曹大さじ1:クエン酸小さじ1